

第9回

現代ガラス展

in 山陽小野田

「ガラスの未来は
ここから始まる。」

SANYO ONODA
CONTEMPORARY
GLASS ART
EXHIBITION
2023

日本最大級のガラス展

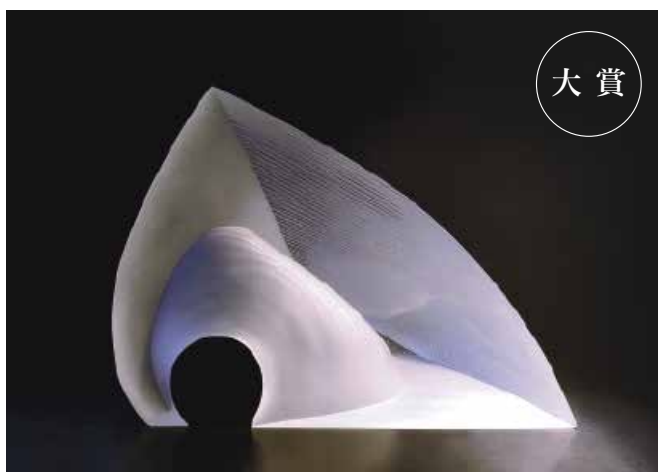
3年に一度開催され、45歳以下の若手ガラス作家の登竜門として位置付けられる公募展です。9回目となる今回は、応募された61点の作品の中から、入賞作品8点、冠スポンサー賞12点、入選作品29点が選ばれました。同展では、これらの49作品を、おのだサンパークで披露します。ぜひ、この機会にガラスアートの世界をお楽しみください。

現代ガラス展実行委員会事務局
(文化スポーツ推進課内 ☎82-1115)

大賞受賞者



作田 美智子
(神奈川県)



静寂のその先に (H490 × W650 × D390mm)

制作意図／集中力が研ぎ澄まされている時にイメージする景色がある。それはとても静かで緊張感があり、揺るがない意思を持って向こう側へ続いている光景である。雑多な日常から解放され、そのゾーンに入り込む感覚が、今の私にとっての逃避行であり快楽である。私の感じているゾーンに入るという感覚、またそこで止まっているのではなく前進し、さらにその奥へ行く感覚を形にした。

■ 受賞者コメント ■ この度は名誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。ガラスという素材はとても魅力的です。この魅力を引き出すことに長い時間をかけてきましたが、諦めないで本当に良かったなと思います。子どもを2人産み、育てながらの制作を許容してくれた家族、女子美術大学の先生方や今私と関わってくれている全ての人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張ります。



審査員長
横山 尚人

ガラス造形作家であり、第1回現代ガラス展から審査員を務める。

これまでに比べて出品数が少なかったが、クオリティとしてはとても良い作品ばかりが目立った。なので全体的に審査が難しかったが、作田さんの作品はガラス独特の透明性を生かしたフォルムで、完成度が高い力作だったので、文句なしの得票で決まりました。